

# 美瑛町活性化交流施設「Bi.yell（ビ・エール）」

■所在地	北海道上川郡美瑛町本町1丁目5番8号
■設置者	美瑛町
■構造	鉄骨造地上2階地下1階建（内装木質化）
■延床面積	1,382.26m <sup>2</sup>

■木材使用量	21.97m <sup>3</sup>
うち地域材	21.97m <sup>3</sup>
■使用樹種	カラマツ



## ◆施設の概要

本施設は、本町の街なかにおいて、町民等への多様な活動や休憩、滞留の場の提供により、町民等の活動領域を拡充し、町全体の賑わいを創出することによって、集客交流の活性化と独創性のある農村文化の創造を促進しながら、より豊かな町民生活の実現を図るため

に設置する新たな価値づくりの施設として整備しました。

2階には屋内遊戯場として、親と子どもがいつでも気軽に訪れ、自由な遊びができる子どもコーナーを確保するとともに、町民等が、いつでも気軽に訪れ、「丘のまちびえい」を象徴する十勝岳連峰、波状丘陵の大地や街並み等の美しさ、雰囲気にながら、自宅の居間のように、寛ぐとともに、歓談、娯楽、ゲーム等による滞留や多世代交流等による共生の場として、日常的な居場所として居心地良く過ごす空間となっています。また、地下にも町民等がいつでも気軽に訪れ、飲食のみならず、歓談、交流やふれあい等による滞留の場として、自由な時間を楽しく過ごすことなどに利用できるスペースも整備し、交流の輪が広がる施設となっています。



## ◆工法等の特徴

設計段階から、美瑛町と連携協定を締結している北海道大学の協力を受け、備付け棚や床材などに、美瑛の特産材である「びえいカラマツ」を使用し、木の温もりと現代的な構造物との調和が感じられる創りとなっております。また、交流施設の暖房設備に木質バイオマスボイラーを利用することにより、化石燃料に頼らない地域材の地産地消を促し、森林資源の循環利用が可能となるよう計画されています。

## ◆整備に当たり苦慮したこと

複数年に渡る整備のため、工区の配分などに手間が掛りました。

## ◆利用者の声

平成27年6月に美瑛町で行われる「世界で最も美しい村連合会」総会においては、本施設が国際会議場となるため、加盟各国の来賓に美瑛町活性化交流施設「Bi.yell（ビ・エール）」をご覧ください。